富山市科学博物館研究報告第41号，pp. 65－66；(2017)
Bulletin of the Toyama Science Museum, (41): 65－66；(2017)

短　報

富山県における絶滅危惧植物クロカワゴケの現況＊

坂井奈緒子
富山市科学博物館
939-8084 富山市西中野町1-8-31

The present situation of *Fontinalis antipyretica* in Toyama Prefecture

Naoko Sakai
Toyama Science Museum
1-8-31 Nishinakano-machi, Toyama-shi,
Toyama 939-8084, Japan

クロカワゴケ*Fontinalis antipyretica*は世界に広く分布し，生育は主に山地の流水や池などの底の岩や倒木上で，環境省の絶滅危惧Ⅱ類（環境省自然環境局野生生物課希少種保全推進室，2015），富山県の絶滅危惧Ｉ類（富山県生活環境文化部自然保護課，2012）に指定されている．

富山県のクロカワゴケの分布については坂井（2010）が記している．2009年に生育が確認されたのは2産地で，どちらも扇状地扇端の湧水の流れである．2016年の調査で，それらの生育地に変化があったので報告する．

１．入善町庄助川

庄助川は湧水が多く流れている全長約2.6 kmの排水路である．2009年10月の時点でクロカワゴケは中流部と下流部に少量生育していた（坂井，2010）が，2016年2月28日に行った下流部の調査では確認できなかった．2016年11月4日に庄助川の全域を調査したが，クロカワゴケを見つけることはできなかった．

庄助川でのクロカワゴケの状況は坂井（2010）に記録されているが，河川改修がされた2001年より前は最上流部を除いてよく繁茂し，改修後はウスキシメリゴケ*Hygrohypnum ochraceum*が中流部，下流部の側面や河床面いっぱいに生育し，クロカワゴケは少なくなった．2009年にはウスキシメリゴケは減り，クロカワゴケはほぼ変わらず，維管束植物が多く生育するようになった．2016年11月4日の調査では，上流部から下流部まで，側面は維管束植物が繁茂し，河床はエビモ*Potamogeton crispus*やバイカモ*Ranunculus nipponicus* var. *submersus*などで覆われていた（図1，2）．側面や河床に砂泥が多く堆積しており，このことがクロカワゴケの生育を妨げたと考えられる．中流部と下流部でウスキシメリゴケとヤナギゴケ*Leptodictyum riparium*は確認できたが，生育量は少なかった．本生育地では湧水は流れているが，砂泥の堆積によって水生のコケ植物の生育に適さない環境になり，クロカワゴケは絶滅したと考えられる．

図１　庄助川中流部（2016年11月4日撮影）．

図２　庄助川下流部（2016年11月4日撮影）．

２．黒部市田家新

本生育地では湧水起源の小流の中，クロカワゴケは約200 m の区間の側面の石積みやコンクリート，河床の転石上に生育していた（坂井，2010）．2011年3月24日の調査では，河床や側面にオランダガラシが繁茂し，クロカワゴケの生育場所は少なくなっていた（図3）．2016年

＊富山市科学博物館研究業績第514号

2月28日に訪れたところ，小流の大部分が三面張りコンクリートに改修され，改修場所ではクロカワゴケおよびコケ植物は生育していなかった．改修されなかった区間は約30 mあり，その中の約10 mの区間にクロカワゴケは生育していた．2016年11月4日の調査でも同様に改修された場所にコケ植物や維管束植物は見られず（図4），生育場所は約10 mの区間であった（図5）．本生育地ではクロカワゴケの近くでウキゴケ*Rissia fluitans*が生育しているが，クロカワゴケ同様に改修されなかった約10 mの区間でのみ確認された．

本産地でのクロカワゴケの生育は危機的状況である．

富山県内でのクロカワゴケの分布は2009年は2産地あったが，2016年の調査では1産地となり，その生育地も生育範囲が大変狭く，絶滅の危機に瀕している．

図３　黒部市田家新（2011年3月24日撮影）．
側面は石積みと土手，河床は砂礫．オランダガラシが繁茂し，クロカワゴケの生育場所は減っていた．

図４　黒部市田家新（2016年11月4日撮影）．
図3と同所．三面張りコンクリートに改修された．

図５　クロカワゴケとウキゴケ（2016年11月4日撮影）．

文献

環境省自然環境局野生生物課希少種保全推進室，2015．レッドデータブック2014－日本の絶滅のおそれのある野生生物－9　植物Ⅱ．580 pp．ぎょうせい．

坂井奈緒子，2010．富山県内におけるクロカワゴケの分布の現状，富山市科学博物館研究報告，(33)：9-14．

富山県生活環境文化部自然保護課，2012．富山県の絶滅のおそれのある野生生物－レッドデータブックとやま2012－．451 pp．富山県．